

# しみん基金・KOBÉ NEWS

第20号

2009年12月発行



## 特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通1-1-1-203(サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

あなたのしあわせ、私のしあわせ



人はしあわせになるために社会の中心的な役割を果たせる種をたくさんもっています。ボランティアや福祉活動を見ていると本当に頭が下がる程多くの技術・知識、とりわけ献身的な関わり方には感心させられます。自分を捨てての親身な態度に接すると、よくそこまで出来るものだと尊敬してしまいます。その人らしく生きて本来持っている能力を発揮しているのでしょう。困難も多く妨げになっていることも少しではないでしょう。その人の気づきが深まっているのだと思うのです。

傾聴講座を通じて学んだことがあります。あなたの知っているあなたと、人が知っているあなた/あなたは知っているが、人は知らないあなた/あなたは知らないあなたを人が知っているあなた/あなたも知らないあなた、人も知らないあなた/ - あなたの知らないあなたを人は知っています -

人はしあわせになるために、「体験や技術を身に纏い」「他者に信頼を得て」「社会貢献できる」「多くのしあわせを見つめる」、そんなたくさんの種を持っています。一人でも遣り抜く強い信念があるのでしょう。しかしながら多くの人の力で協力しながら達成することも、多くのしあわせが得られたらその効果も大きいと思われれます。何か問題が起きると、人々のエネルギーが一つの目標に対して集中し、必要な刺激に対して反応し変化し、以前とは異なるエネルギーを起こすことになる、そんな協力者の存在も必要なのではないでしょうか。

市民の力で社会を活性化された行動として、私の知人の神戸市在住のイラストレーターY氏の事例を紹介します。彼が芦屋の焼鳥屋の壁一面(10m×5m)にニワトリとヒヨコが跳んでいるイラストを製作中、通りがかりの若い奥さんが「いつできるの?」「いつオープンなの?」と聞きます。どうも保育所と間違っているようです。そこで「炭火焼鳥」とイラスト作成を中断して書きました。素晴らしいイラストができあがり、数ヶ月後、その建物の入居者がドンドン増えることになり、その焼鳥屋はビルのオーナーから金一封を頂いたそうです。若い奥さんの何気ない小さな行動が大きく地域を活性化できるのです。

日本国内において税制の問題も含めて寄付活動が活発でなく、寄付をして喜びを得る体験がなかなか見られませんが、私ができないから寄付でもってその活動を援助したい、という意識がなかなか育たないのが現状です。一方で、しみん基金 KOBÉ でのヒアリング調査から発見したことは、公益的なサービスの提供を行政よりもスムーズに、効果的に、自立的・主体的に責任をもってできている団体が多くあるということです。

しみん基金 KOBÉ の助成先決定のプロセスの中で、多くの方々のアドバイスを得られることで、より一層それぞれの団体の活動の輝きが増していき、助成申請者の前でその決定を行うという実にスマートで公平で平和なサービスは、しみん基金 KOBÉ の独自のものとして本当に大きな財産であると認識しています。

あなたのしあわせ、私のしあわせ -

(特活)しみん基金・KOBÉ 理事 吉本 悦

(神戸コンサルティングブレン(株)代表取締役)

### 主な目次

- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| ◆ 平成 21 年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告 -- 2  | ◆ 1.17 メモリアル・コンサートご案内 ----- 6 |
| ◆ 平成 21 年度助成先団体一覧 ----- 2~4       | ◆ こうべあいウォーク 2010 ご案内 ----- 6  |
| ◆ 10 周年記念ファンドレイジング・パーティーご案内 --- 5 | ◆ 14 年目のひとり言 ----- 8          |



## 平成21年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告



平成 21 年 10 月 30 日(金)13 時～17 時に、神戸市生涯学習センター(コムスタ・こうべ)2F セミナー室にて、平成 21 年度しみん基金・こうべ助成事業の公開審査会を行い、別表のとおり助成先を決定いたしました。この事業の実施にあたりましては多くの方々の貴重なご寄付とご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

今年度の公開審査会は、19 団体から各々の助成を受けたい事業の背景や目的、その内容・スケジュール、それによってめざすべき社会的成果についてプレゼンテーションを行って頂き、審査員との活発な質疑応答がありました。

すべての発表が終わり、審査員による公開投票を行い、特定枠 6 団体、一般枠 7 団体が助成先として選考されました。その後、同日の当基金理事会にて、公開審査会の結果を受けて別表のとおり(少額枠:4 団体、一般枠:7 団体、特定枠:6 団体)の各団体の事業に合計 4,997,000 円を助成することが承認されました。

なお、少額枠とは、助成申請のあった団体の中から申請額が 10 万円以下のもので当基金の趣旨になかった団体の事業を、書類選考のみで決定いたしました。

また、今年度の特定枠は、昨年度に引き続き高野山真言宗から特に福祉分野を指定されてご寄付を頂いたことに基づきまして、設定されました。

### 公開審査会までのプロセス

今年度の助成事業は7月中旬に応募要項を公表し、7月21日～8月31日の期間に申請受付を行いました。



今年度より応募期間中に事前個別相談会(予約制)を実施して16団体の皆さんにご利用頂きました。最終的に応募総数は、72件(昨年度は78件)でした。

その後、9月14日の当基金理事会にて書類選考を行い、19団体の方々に公開審査会でプレゼンテーションを行っていただくことになりました。また同時に、少額枠の助成先4団体を決定いたしました。

その後、9月下旬から10月中旬にかけて、当基金の理事が手分けして各団体の活動場所を訪ね、ヒアリング調査を実施いたしました。各審査員へは、申請書類とヒアリング調査結果報告を事前にお読み頂いた上で10月30日の公開審査会に臨んで頂きました。

### 助成決定団体・事業

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		
少額枠	1	兵庫県喉摘障害者福祉協会 神鈴会	代用音声発声指導員スキルアップ研修会	神戸市中央区
		喉摘者の代用発声法の指導には、手術方法の変化や新しい発声機器の取扱への対応など、常に新しい技術・知識の習得が必要で、その指導力向上の機会をつくることを通じて、喉摘者のコミュニケーション障害を解消し社会参加促進を図ることを目的としている。		
	2	伊川を愛する会	美しい里川「伊川」の環境を未来へ伝えよう	神戸市西区
		伊川の生物調査を専門家の指導のもと流域住民自らが行き、その結果に基づいて地元小学校向けの自然学習の教材づくりと水辺教室を実施し、地域への愛着を培い、地域の環境問題に興味を持ち活動できる人材を育成することを目的としている。		
	3	こころ・あんしん Light	こころの病気をもつこどもの家族のサポート	尼崎市
		こどもの精神疾患の発症に対して、家族だけで問題を抱えることなく早期に支援するしくみとして、家族同士が支えあい、学べる場所をつくり、また、いつでも SOS を発信できる相談の窓口を設けることを目的としている。		
	4	傾聴ボランティアグループ よりそい	傾聴訪問会と勉強会	川西市
		孤立しがちな高齢者の気持ちに寄り添いながら話を聴く「傾聴訪問」活動と、そのためのボランティアのスキル研鑽のための月例勉強会・傾聴講座の開催を通じて、高齢者のこころのケアを図ることを目的としている。		

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		
一般枠	5	神陵台 E,E,いいまちづくりの会	明舞団地再生・神陵台まちづくりサポートセンター事業	神戸市垂水区
		神陵台が開発され始めてから 39 年の時がたち、少子高齢化が進む中、寒風池など恵まれた自然環境の調査活動や子どもたちの居場所づくり等の活動を通じて、緑と子どもたちを守り育てる住民主体のコミュニティづくりを目指している。		
	6	ヘルマンハーブ風	奏でる喜びを全ての人に	西宮市
		障害を持った人にも演奏できるようにとドイツで開発されたヘルマンハーブの演奏活動と、様々な人々と一緒にそれを演奏できるようにしていく訪問指導活動を通じて、他人の立場を思いやる人間として穏やかな幸せを共有できることを目指している。		
	7	被災・高齢者識字教室 ひまわりの会	被災・非識字高齢者の読み書き教室	神戸市兵庫区
		学齢期に学ぶ機会を奪われたまま高齢となった非識字者への読み書き教室を通じて、少しずつでも文字を獲得してその過酷な体験を表現してきた文章を文集にまとめ発行することで、非識字者の存在を周りの人々に理解されていくことを目指している。		
	8	神戸プラネット	第2回神戸ドキュメンタリー映画祭	神戸市長田区
		地域に根ざした映画文化を発信することを目指し「神戸映画資料館」を開館して以来の新旧ドキュメンタリーの上映実績を生かして、神戸発の独自性をもったドキュメンタリー映画祭を開催することを目的としている。		
	9	OGOGO PROJECT 実行委員会	淡河そら祭り	神戸市北区
		茅葺屋根の住まいがまだ残っている神戸市北区淡河町で、村の若者たちが中心になって、茅葺きや陶芸などの技術を体験できるワークショップや地元アーティストによる演奏会などを通じて、世代間交流や都市と農村の交流を図る。懐かしいけど新しい「日本の田舎」を体感できるお祭りを継続的に実施することを目的としている。		
10	こうべ子どもにこにこ会	深江多文化子どもまつり2010(仮称)	神戸市東灘区	
	さまざまな文化背景を持った外国籍住民が多く定住している東灘地域で、地縁団体も巻き込みながら日本人住民と外国籍住民が協力し合い、理解しあえる機会としての「地域のお祭り」を実施することを通じて、「多文化共生社会実現」に向けて、住民の主体的な意識を高めることを目指している。			
11	(特活) 保育ネットワーク・ミルク	保育ボランティア・インターシップ事業	三田市	
	将来へのモチベーションの高い学生や子育て支援に関心のある一般市民への体験の舞台として保育ルームを開放することを通じて、次世代の担い手育成と地域で一人でも多くの支援者を養成し、地域が一体となり子育てに奮闘する親子を温かく受け入れる社会環境づくりを目指している。			
特定枠	12	(特活) アリランはんしん	アリランヘルパー講座	西宮市
		阪神間は在日コリアンが特に多く定住する地域では、その高齢化の進行も顕著だが、一方でその文化的背景までも理解して介護を担えるヘルパーの人材は少ない。そのために、ヘルパー2級講座に異文化への理解を深めるための講習を付加したヘルパー養成の講座を開催することを通じて、在日コリアン高齢者に適した介護力の充実を目的としている。		
	13	W・Sひょうご	DV被害者のための相談スタッフ養成Ⅰ	神戸市灘区
		DV被害を受けても官民の相談機関を利用するケースは少なく、潜在的な被害者が多く存在している。また一方で、相談を受けて支援することができる官民の人材も少なく、この養成講座開催で人材の確保と既存支援者のスキルアップを図り、支援力の質向上を通じて、DV被害の未然防止や被害の深刻化を防ぎ、ひいてはDVのない社会にしていこうことを目指している。		
	14	兵庫区地域自立支援協議会	兵庫区内の福祉施設ガイドマップ冊子作成	神戸市兵庫区
	兵庫区内の福祉関係施設の活動内容や連絡先等を、地図を副えたガイドマップ冊子にまとめ作成・配布することを通じて、一般区民への理解向上と交流促進に活用していただけることを目的としている。			
15	神戸YWCA 夜回り準備会	野宿している人の生活の安定と社会的理解の促進を目指す	神戸市中央区	
	野宿している人を訪問し、情報や生活物資の提供を行い、必要に応じて各種手続きの援助を行うことを通じて、少しでもよりよく暮らせる支援を行なう。あわせて、当事者たちへのいわれなき偏見や無理解の実状を報告書にまとめ、広く一般向けに情報発信することを通じて、野宿している人への差別のない社会実現を目指す。			

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		
特定 枠	16	(特活)こころアートコミュニケーション	緩和ケア病棟におけるアートセラピー	西宮市
		緩和ケア病棟におけるアートセラピーワークを通じて、末期がんで入院されている患者やその家族に対して、精神的なケアと安らかな死を受容していくことを目指している。あわせて、アートセラピーの有効性と成果を発表することを通じて、医療関係者等へその認知度を高めていくことを目的としている。		
特定 枠	17	ゆうきっこクラブ	『ゆうきっこピア』特性をもつ子と親の居場所づくり	西宮市
		放課後に発達障害をもつ親子が集える居場所の提供や、親が特性を持つ子どもの成長をうまく導くトレーニング講座の開催を通じて、情報を共有できず日々悩んでいる親子が孤立せず、地域の理解と協力の中で子育てができる環境づくりを目指している。		

当日ご出席頂いた審査員の皆さん(順不同・敬称略)

助成金贈呈式 & 昨年度助成先事業成果報告会

- 山口 一史 = 審査員長  
( (特活)ひょうご・まち・くらし研究所)
- 清水 勲夫 ( (財)野外活動協会)
- 石東 直子 (石東・都市環境研究室)
- 松村 敏明 ( (社福)えんぴつの家)
- 藤井 英映 (兵庫県観光・国際局観光交流課)
- 北川 創一郎 (毎日新聞社神戸支局)
- 森崎 清登 (近畿タクシー(株))
- 河口 紅 ( (特活)さんびいす)
- 鷲本 郁 (あじさい基金 - しみん基金こうべを支える会)
- 津久井 進 (弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所)

公開審査会から1週間後の11月6日(金)に、コミスタこうべの301号室にて、助成金贈呈式 & 昨年度助成先事業成果報告会を開催しました。これは、市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの寄付やボランティアの提供という「善意の循環」で支えあうことの大切さを分かち合うことをねらいとしています。

当日はまず、昨年度の助成先 18 団体のうち 12 団体の方々に、この 1 年間で助成金を活用して実施した活動の内容とその実績及びそれによって得られた社会的成果などについてご報告頂き、当基金の寄付者や理事・審査員の皆さんや今年度の助成団体の皆さんと共有いたしました。参加された各団体の皆さんにとっては、普段相互に知り合い得ない活動の様子を聞きあうことを通じて、それぞれの活動へよき刺激を得られる交流の場となったと思います。

その後、助成金贈呈式と草地奨励賞授与式を行い、今年度の助成団体にとっては事業実施に対する責任と決意を確認する機会となりました。



草地奨励賞

この賞は、当基金の初代理事であった故草地賢一氏(阪神大震災地元NGO救援連絡会議代表)の長年にわたる幅広い草の根市民活動の哲学と業績をたたえ、その遺志を継いでいくため、草の根支援の見地から見て意義のある活動を活発に継続的に展開されている団体に対し授与されるものです。

この公開審査会でプレゼンテーションされた団体の中で惜しくも助成先選考からもれた中から、同日に開催された当基金理事会の選考により、今年度は「三木自然愛好研究会」に授与することに決定いたしました。



なお、平成 20 年度助成先 18 団体分の事業成果の内容は、次号のニューズレターにて掲載予定です。



## しみん基金こうべ・10周年記念 ファンドレイジング・パーティー ご案内



前号で紹介いたしました、当基金の10周年記念事業の一貫として行なう「10周年記念ファンドレイジング・パーティー」の概要が決まりましたので、下記の通りご案内いたします。このパーティーは、これまでの10年間にお世話になった方々や支援してきたNPO・ボランティア団体のみなさんに一堂に会していただき、当基金のあゆみを振り返りつつ、いろいろな人たちとの交流を楽しく過ごすひと時を、ご提供させていただくものです。

なお、会費の¥10,000のうち¥3,000は、当基金への寄付とし、平成22年度の助成事業の助成金として活用させていただきます。

日時：平成22年2月17日(水)

開場：18:00～ 開宴：18:30～

会場：神戸ポートピアホテル本館・地下1F 偕楽

神戸市中央区港島中町6丁目10-1

TEL.078-302-1111(代表)

(JR・阪急・阪神・地下鉄「三宮駅」からポートライナーに乗り換えて「市民広場前駅」下車すぐ、「三宮駅」からシャトルバスあり)

会費：¥10,000 (この内¥3,000は当基金への寄付金)

お申込方法 (事前予約制)

(1)同封のはがきを1月20日までにご郵送下さい。

(2)2月10日までに会費を下記口座へお支払い下さい。

振込口座

郵便振替 00990-5-157334

三井住友銀行 三宮支店 普 8840183

口座名義 しみん基金・こうべ

(3)入金確認次第、チケットを郵送します。

当日は、チケットをご持参の上、お越し下さい。



### 阪神・淡路大震災15周年記念

## プロ野球スター夢の対決・チャリティマッチ

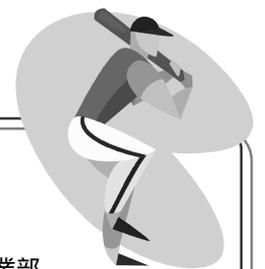
12月20日(日)13時から神戸・スカイマークスタジアムで、1980年度生まれのいわゆる「松阪世代」の野球選手でつくる「昭和55年会・55チャレンジャーズ」と、地元兵庫県出身の選手らでつくる「がんばろう神戸ドリームズ」との夢のチャリティマッチが行なわれます。出場選手には、「55チャレンジャーズ」からは村田修一選手(横浜)や東出輝裕選手(広島)らが、また「がんばろう神戸ドリームズ」には、坂口智隆選手(オリックス)

らトップクラスの選手たちが集まってくださる予定になっています。

なお、この試合の収益金は、当基金へご寄付頂くことになっていまして、次年度のNPO・ボランティア活動への助成金として活用させて頂く予定です。過分なご厚誼を賜り、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

この試合のチケット購入など最新の詳細情報は、下記URLでご確認頂きますようお願いいたします。

<http://ebayarea.net/kobestars/>



### <リサイクル寄付のお問い合わせ＆ご協力方法>

古着：オレンジスリフティ

TEL 078-858-7090

〒657-0027 神戸市灘区永手町3-1-208

オレンジスリフティ 六甲店

- ・上記ショップへ持参または宅配便にて送付してください。
- ・送付の際は、メモにて「しみん基金こうべ リサイクル寄付」とご記入の上、送料は送り主様にてご負担ください。
- ・お洗濯やクリーニングなど、一般的な処置を済ませていただいた上で、あまりに汚れているものや消えないしみのついているものは除いてください。再販売が可能なものと考えていただければ大丈夫です。

家電・音楽機器・パソコン等の電子機器：

(株)こうべリサイクルセンター リサイクル寄付事業部

TEL 078-303-6201

〒650-0046 神戸市中央区港島中町1-1-14

- ・上記お問い合わせ先へお電話下さい。「リサイクル寄付」とお伝えください。
- ・お電話にて、商品がリサイクル品として再販可能かどうか確認させていただきます。
- ・再販可能と判断された場合は、上記のあて先まで宅配便にてご送付下さい。「リサイクル寄付」と明記ください。送料はご負担いただきますようお願いいたします。



## ぼたんの会 ~ 1・17メモリアル・コンサート ~ 竹下景子さん “詩の朗読と音楽の夕べ” ご案内



大震災から15回目の「1・17」が巡ってきます。例年通りぼたんの会実行委員会では、竹下景子さんをお迎えして「1・17メモリアル・コンサート “詩の朗読と音楽の夕べ”」を右記のとおり開催します。

あの震災から学んだ人と人との絆、共に悲しむ心、いのちと平和の大切さを、メッセージにした公募詩を竹下さんにていねいに朗読していただきます。今回はゲストに板橋文夫”ミックスダイナマイトトリオ“をお迎えして、すばらしい演奏を披露していただきます。是非ともお誘い合わせの上、この時空間を味わいにお越し下さい。



特別協賛: シスメックス(株)

協賛: 積水ハウス、ポックサン、SANTICA、(株)フェリシモ

日時: 2010年1月17日(日)

開場 18:00 ~ 開演 18:30 ~

会場: 神戸新聞松方ホール TEL:078-362-7111

神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情文ビル4階

内容:

- ・竹下景子さん詩の朗読 with 林昌彦さんピアノ演奏
- ・JAZZ演奏:板橋文夫”ミックスダイナマイトトリオ“

チケット: 前売¥2,500、当日¥3,000 全席自由席

チケットのお申込みは しみん基金・K O B E でも承っていますので、参会ご希望の場合は当基金事務局までご連絡をよろしくお願ひします。TEL:078-230-9774

ぼたんの会実行委員会構成団体: (特活)市民活動センター神戸、(特活)兵庫県子ども文化振興協会、被災地NGO協働センター、(財)神戸学生青年センター、(特活)神戸まちづくり研究所、(特活)ゆめ風基金、(特活)しみん基金・こうべ、アートサポートセンター神戸、(特活)コミュニティサポートセンター神戸、移住労働者人権裁判基金、公益信託亀井純子基金、(特活)CODE 海外災害救援市民センター

共催: 復興支援コンサート実行委員会 協力: (財)神戸新聞文化振興財団 後援: 神戸市、神戸市教育委員会、兵庫県芸術文化協会



## あい こうべ 人 ウォーク2010 ご案内

震災から15年の神戸を、あなたの足で歩いてみませんか? あなたの心のこもった「あい」を少し神戸のボランティア活動にわけて下さい。

1999年に第1回こうべあいウォークを開催し、第3回まで大勢の方にご参加いただきました。その後も毎年欠かさず1月17日直近の日曜日に有志で続け、昨年10年目を期に規模を拡大して復活いたしました。

このイベントは、震災から15年のときが経過した長田のまちをみんなで歩きめぐることを通して、市民活動を市民自らが精神的にも資金的にも支援するという理念を次世代に継承することを目的に開催します。スタート地点での募金(千円)は、当基金を通じてNPO・ボランティア活動へ助成されます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

申込予約は不要です。当日所定の時間にお集まり下さい。

主催: こうべあいウォーク2010 実行委員会((特活)しみん基金 K O B E、神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション、甲南女子大学)

後援: 神戸市 協力: 近畿労働金庫地域共生推進室

開催日: 2010年1月10日(日) 雨天決行

スタート: 受付 9:30 ~ 10:00 随時出発

大国公園(JR 鷹取駅南東徒歩5分)

ゴール: 受付 11:30 ~ 13:00

長田区役所前広場(予定: 高速長田駅西徒歩5分)

全行程3 ~ 4km を、配布地図を参考にゴール目指して、それぞれのペースで歩いていただきます。途中随所で案内ボランティアによる解説を聞くことができます。





## コラム・市民社会を支えるお金の流れを考える(6)

しみん基金・KOB事務局長 江口 聡

回を重ねて、このコラムも6回目を迎えることになりました。初回に標題について考えるにあたって、3つの立場ごとに整理する必要があります、としました。それはすなわち、

- (1) NPO/NGOなど市民活動側に求められていること
- (2) 資金や労力・知恵を提供する市民側に求められていること
- (3) 両者を仲介する中間支援組織に求められていること

でした。前回までに(1)と(2)について書いてきましたので、今回は(3)のNPO/NGOと市民をつなぐ中間支援組織に求められていることを考えてみたいと思います。

### 現代社会の閉塞感

高度経済成長後の日本における都市での生活は、大変便利で自由な環境を創り出してきました。多くの人たちが農村から都市へ移住してきて、物質的に満たされた時間を過ごすことができるようになりました。一方でこのような豊かな消費生活を支えるための生産活動の多くは、専門分化した組織(企業、行政、学校など)によって担われ、多くの人々はそこに所属する従業員として賃金

を得ることを中心とした生活形態へと移行していきました。そして、かつての農村に見られたようなコミュニティ意識はどんどん希薄化していき、生活を支えるためには組織に帰属し働くことで「お金」を得ないと生きていけない、という意識と状況が広がっていきました。すべてのものを「お金」に換算しないと気がすまない現代社会は、組織の要請に合わせた賃労働を強いられ、そこにそれぞれの人の生きがいや生活を十分に重ね合わせるできないままに孤立化していき、言いがたない閉塞感を産み出してきました。

組織帰属の要請に合わせた在り方が、本来、人それぞれが生まれながらに持っている独自の「使命」と深く向き合う機会を失わせているのではないのでしょうか? 一人一人の内には必ずその人独自の「使命」を果たすための叡智のタネが宿っているのだと思います。自分の中にある力を過小評価せず自信をもって進むこと、政府や企業に頼らなくても自分達の生活を変えることによって社会は変わりうる、という自信を市民に感じさせ、勇気付けることが、今NPO/NGOや市民の間をつなぐ中間支援組織に何よりもまず求められている役割のひとつだと私は思います。(つづく)

## しみん基金・KOB事務局の活動報告(2009年7月~2009年11月)

【イベント・講演・研究会等】

7月4日 KEC アドバイザー派遣事業・第1回合同研修会

7月10日 神戸市民円卓会議・第1回全体会

@神戸市役所・協働と参画のプラットフォーム

7月10日 神戸市アドバイザー派遣事業・第2回企画 MTG

**7月21日~8月31日 しみん基金 KOB 助成事業・申請受付及び、事前個別相談会(毎週火・木曜、P2 参照)**

7月24日 第1回ファンドレイジング研究会@東京

主催:日本ファンドレイジング協会 江口出席

8月19日 神戸市アドバイザー派遣事業・第3回企画 MTG

8月21日 神戸市アドバイザー派遣事業・第1回NPO運営ステップアップ連続講座「助成金申請書をうまく書くコツ」  
企画・講師:江口

9月5日 KEC アドバイザー派遣事業・第2回合同研修会

9月9日 神戸市アドバイザー派遣事業・第1回ケースカンファレンス

**9月10日 しみん基金 KOB 10周年記念事業・検証ビジョン委員会第1回ワーキンググループ**

9月12日 第2回ファンドレイジングセミナー@東京

主催:日本ファンドレイジング協会 江口出席

9月19日 KEC アドバイザー派遣事業・研究会

**9月24日~10月14日 しみん基金 KOB 助成事業・ヒアリング調査(P2参照)**

9月25日 神戸市アドバイザー派遣事業・NPO法人心の集い  
第1回訪問ヒアリング:現状把握@神戸市西区

10月1日~11月30日 インターン生受入れ:神戸学院大学・総合リハビリテーション学部3回生 藤田泰生さん  
(実習7H/日×40日、業務支援・デ・タベ・ス作成等)

10月3日 KEC アドバイザー派遣事業・第3回合同研修会

10月7日 第3回ファンドレイジング研究会@東京

主催:日本ファンドレイジング協会 江口出席

10月14日 KEC アドバイザー派遣事業・研究会

10月22日 神戸市アドバイザー派遣事業・NPO法人心の集い  
第2回訪問ヒアリング:要望抽出@神戸市西区

10月28日 KNN 研究会・佐野章二氏講演会@大阪 NPO プラザ

**10月30日 しみん基金 KOB 助成事業・公開審査会(P2-4参照)**

**11月6日 助成金贈呈式&昨年度助成先事業成果報告会**

11月7日 KEC アドバイザー派遣事業・第4回合同研修会

11月10日 関西財団の集い「新公益法人制度移行後の現状と問題点」((財)公益法人協会・太田達男理事長)

@大阪商工会議所 江口出席

11月12日 神戸市アドバイザー派遣事業・第2回ケースカンファレンス

11月12日 KEC アドバイザー派遣事業・研究会

11月16日 神戸市アドバイザー派遣事業・第2回NPO運営ステップアップ連続講座「かきこい資金調達の方法」

11月16日 検証ビジョン委員会・アンケート調査発送

11月25日 KEC アドバイザー派遣事業・研究会

【会議】

9月9日 四役運営会議

助成事業、10周年記念事業などについて協議

**9月14日 平成21年度第2回理事会(P2参照)**

書類選考、少額枠助成先について審議

**10月30日 平成21年度第3回理事会(P2-4参照)**

一般枠・特定枠助成先、草地奨励賞について審議



14年目のひとり言  
～ 故西正興副理事長を偲んで～



平成14年より当基金の副理事長を務めて頂いていた西正興副理事長が今年7月にお亡くなりになった。当基金だけではなく在神のNPO/NGOに関わりを持たれ理事等を務められていた。

西さんは1934年生まれ、東京の表参道で育ったと聞いている。若い頃には潜水艦を造っていたそうだ。神戸で創業された洋菓子店「ユーハイム・コンフェクト（現・神戸スイーツポート）」の2代目社長として活躍、阪神淡路大震災の際には、兵庫県洋菓子協会の会長職にあり、業界の復興に尽力された。社長を退かれてからも菓子業界は勿論のこと、それ以外の分野でも活躍され、その交友範囲は本当に広く、「西さんにお願ひすれば・・・」と誰もが思っていたに違いない。昨年（2008年）姫路で開催された「全国菓子大博覧会」においても、病の身を押し立てて実行委員会の幹事長として獅子奮迅の活躍をされ、大会を成功へと導かれたことは記憶に新しいところである。

また、どのようなパーティーにおいても音楽が鳴り始めると独特の踊り（ダンス？）を披露されるひょうきんな一面もお持ちだった。あの踊りをもう一度と願っていたが、叶わぬ夢となった。

西さん、本当にお世話になりました。どうぞ安らかに眠り下さい。合掌

しみん基金・K O B E 専務理事 瀬戸口仁三郎

## 会員数とご寄付のご報告

正会員 個人 38名 団体 4名

賛助会員 個人 65名 団体 11名

(2009年11月末現在)

新規賛助会員一覧（敬称略・順不同）

中井忠昭、高橋智子、和田修 他2名

寄付・募金合計金額 1,498,000円

寄付者・募金一覧（敬称略・順不同）

室崎益輝、阿部圭宏、井上由紀子、まや鋼業株式会社  
武田政義、ぼたんの会実行委員会、山口一史  
玉田照子

(2009年7月～2009年11月)

毎年、公開審査会や成果報告会を契機に会員になって頂いたり、ご寄付を頂く方がいらっしゃいます。皆様の篤いお志により御礼申し上げます。

次号の予告(2010年3月発行予定)

・平成20年度助成先事業成果のご報告  
・こうべiウォーク&1・17メモリアルコンサートのご報告など

「しみん基金・K O B E」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円  
団体会員 年間 10,000円

お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

<振込口座>

三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892  
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921  
近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854  
郵便振替 00990-5-157334  
口座名義 「しみん基金・こうべ」



## あ と が き

大正期から戦後にかけての社会運動家であり、生活協同組合などの創立者でもある賀川豊彦が、この地で活動を始めてから今年で百周年を迎える。事務所のそばに生誕百年祭のときに建てられた記念碑があるのを最近知った。先日、「死線を越えて」という映画も観た。百年という時を超えて、この地に漂うその情熱の強さに想いをめぐらせるこの頃である。 (え)